



国土交通省
中国地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and
Tourism Chugoku Regional Development Bureau

平成26年 3月 28日

資料提供先: 島根県政記者会

お知らせ

平成26年度 直轄事業（島根県分）予算概要

【問い合わせ先】

国土交通省中国地方整備局

浜田河川国道事務所	(河川)副所長	<small>みちなか</small> 道中	0855-22-2480
	(道路)副所長	<small>わだ</small> 和田	
出雲河川事務所	副所長	<small>さとう</small> 佐藤	0853-21-1850
松江国道事務所	(改築)副所長	<small>いしかわ</small> 石川	0852-26-2131
	(管理)副所長	<small>おおはら</small> 大原	
境港湾・空港整備事務所	副所長	<small>ささき</small> 佐々木	0859-42-3145

予 算 総 括 表

直轄事業(島根県分)

[単位:百万円]

事業別	項目		平成25年度	平成26年度	対前年度比 H26 / H25
河 川	斐伊川	一般河川改修事業	3,932	4,007	1.02
		河川工作物等応急対策事業費	121	0	0.00
		総合水系環境整備事業	592	600	1.01
	江の川	一般河川改修事業	1,366	1,418	1.04
		河川工作物等応急対策事業費	0	0	-
	高津川	一般河川改修事業	375	374	1.00
		河川工作物等応急対策事業費	14	45	3.21
	小 計			6,400	6,444
道 路	新 直 轄		110	0	0.00
	改 築		23,299	24,540	1.05
	交 通 安 全 事 業		1,833	1,569	0.86
	電 線 共 同 溝		170	100	0.59
小 計			25,412	26,209	1.03
港 湾	浜田港		1,000	1,094	1.09
	三隅港		0	290	皆増
小 計			1,000	1,384	1.38
合 計			32,812	34,037	1.04

上記予算の他に、地方整備局一括配分として、河川維持修繕費、堰堤維持費、交通安全施設等整備事業費(種)、道路維持管理費等がある。

一般河川改修事業には、大規模、東日本大震災の教訓を踏まえた「全国防災」の河川津波対策等に係る予算を含む。

上記には道路調査費、付帯工事費、受託工事費を除く。

上記予算の出雲河川事務所分については、島根県・鳥取県分を含む。

河川関係事業

1. 予算額

[金額単位:百万円]

事業費		平成25年 (当初)	平成26年	伸率 (H26/H25)
斐伊川	一般河川改修事業	3,932	4,007	1.02
	河川工作物等応急対策事業費	121	0	0.00
	総合水系環境整備事業	592	600	1.01
	小計	4,645	4,607	0.99
江の川	一般河川改修事業	1,366	1,418	1.04
	河川工作物等応急対策事業費	0	0	-
	総合水系環境整備事業	0	0	-
	小計	1,366	1,418	1.04
高津川	一般河川改修事業	375	374	1.00
	河川工作物等応急対策事業費	14	45	3.21
	総合水系環境整備事業	0	0	-
	小計	389	419	1.08
	合計	6,400	6,444	1.01

上記予算の他に、地方整備局一括配分として、河川維持修繕費、堰堤維持費等がある。
 一般河川改修事業には、大規模、東日本大震災の教訓を踏まえた「全国防災」の河川津波対策等に係る予算を含む。
 上記予算の出雲河川事務所分については、島根県・鳥取県分を含む。

事業の概要

河川事業【斐伊川】

【斐伊川一般河川改修事業】

大橋川改修は、堤防整備・天神川水門新設、用地補償等を実施します。
(資料 - 1)

中海湖岸堤整備は、松江市手角町長海地先(中海)の湖岸堤整備に着手します。

斐伊川本川では、堤防の高さや断面が著しく不足している上出西地区において、築堤護岸を実施します。

【斐伊川総合水系環境整備事業】

中海及び宍道湖の水環境の改善を目指し、浅場造成及び覆砂等を実施します。
(資料 - 2)

上記の他、既存施設の機能が持続的に発揮できるよう補修、更新を実施し、戦略的な維持管理を行います。

ひいかわ 斐伊川一般河川改修事業

おおはしがわ
(大橋川地区)

事業費4,007百万円
斐伊川水系全体

資料 - 1

国民の安全・安心の確保
防災・減災

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

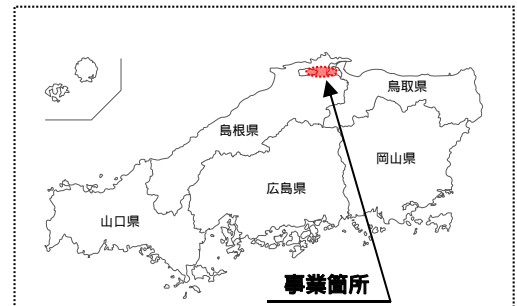
大橋川は「水の都松江」を象徴する風情ある水辺景観を醸し出す川である反面、沿川は堤防が未整備であるとともに、上下流の2箇所に狭窄部を抱えるため、戦後最大の浸水被害が発生した昭和47年7月豪雨や、平成18年7月豪雨により、山陰地方の中心都市である県都松江の中心市街地が浸水するなど、甚大な被害が発生しました。

大橋川改修は、斐伊川治水計画(上流部のダム建設、中流部の放水路建設と本川改修、下流部の大橋川改修と中海・宍道湖の湖岸堤整備)の一つで、平成23年8月に大橋川中流の追子地区の堤防整備の工事に着手しました。

今後は堤防整備等を実施し、早期に安全性の向上を図ります。

2. 事業箇所

島根県松江市福富町～松江市東茶町地区



3. 平成26年度 予定事業内容

大橋川において、築堤、天神川上流水門新設、用地補償等を実施します。



(仮称)天神川上流水門 完成イメージ



H18.7浸水状況:東本町(松江市)



4. 期待される整備効果

河川整備計画の治水目標である、戦後最大の被害をもたらした昭和47年7月洪水が再び発生した場合においても、家屋の浸水被害の防止が図られます。

国民の安全・安心の確保
地域活性化と豊かな暮らしの実現

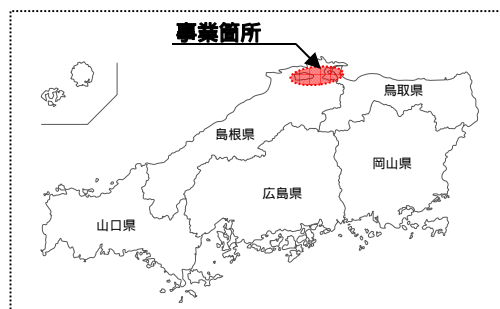
事業推進

1. 事業の必要性及び概要

中海・宍道湖では、水質観測が始まった昭和48年頃から、環境基準値を満足していない状態が続いており、赤潮・アオコといった富栄養化現象が継続的に発生しています。また、湖周辺地域の開発等による流入負荷の増加に加え、浅場・藻場が減少し、湖の自然浄化機能が低下しています。そこで、沿岸域に浅場を整備するとともに、中海の底質が悪い箇所には覆砂も実施して、生物の生息環境を改善することにより、湖の自然浄化機能を向上させ、水質浄化を図ります。

2. 事業箇所

鳥取県米子市錦海町～島根県出雲市小境町地区



3. 平成26年度 予定事業内容

中海：覆砂 A=220千m²

宍道湖：浅場造成 L=260m



4. 期待される整備効果

浅場造成・覆砂により、自然が本来もつ浄化機能を回復して水質浄化を図ります。

アオコや赤潮の発生抑制によって湖岸の景観も向上するほか、地域の人々等の憩いの場としての機能が向上します。

河川事業【江の川】

【河川改修費】

○江の川河川改修事業では、江津市大貫地先、八神地先及び美郷町都賀西地先において築堤等及び用地補償を推進する予定です。また、江津市川越地先においては、工事に先立ち必要となる用地補償を行います。(河-1)

○「土地利用一体型水防災事業」では、江津市川平地先において築堤等及び用地補償を推進する予定です。(河-2)

【河川維持修繕費】

○直轄管理区間(延長;左岸91.3km、右岸;79.3km)について、主として堤防除草、護岸補修、樋門操作、河川内樹木伐採、河川巡視等を行います。

●国民の安全・安心の確保
○防災・減災

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

八神地区は、昭和47年7月洪水により117戸の家屋浸水被害が発生し、近年においても平成11年6月に1戸の家屋浸水被害が発生しています。

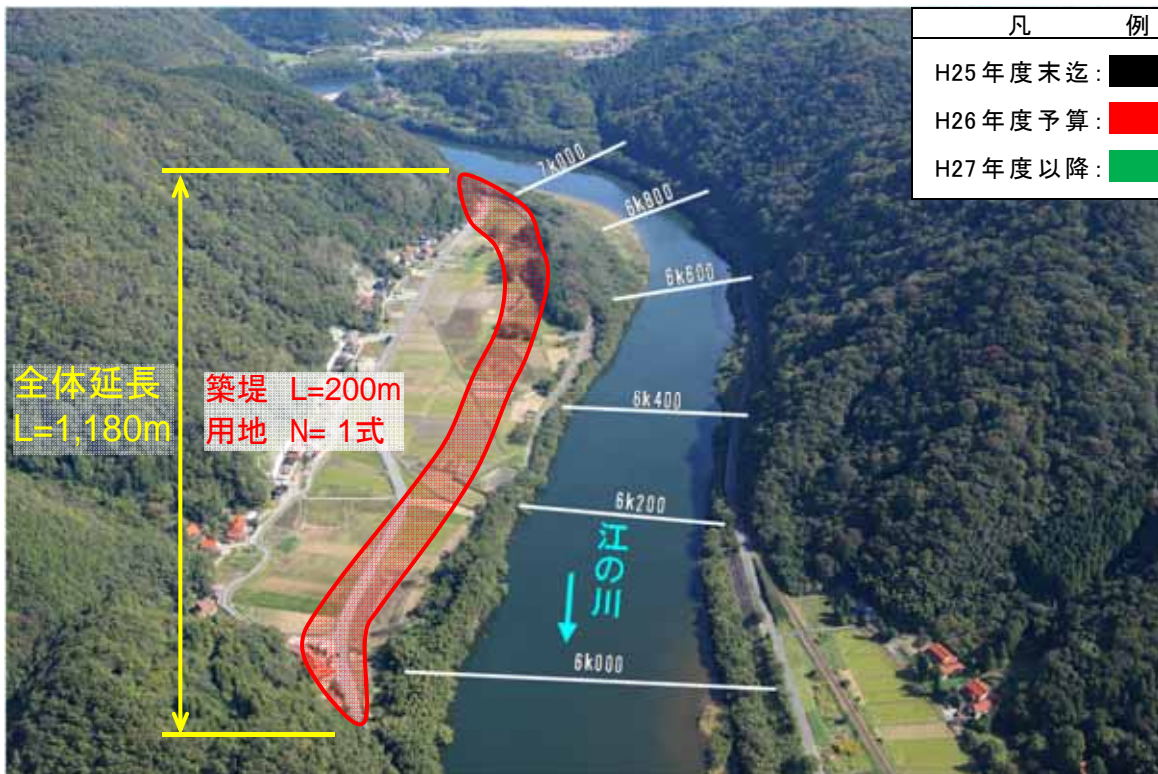
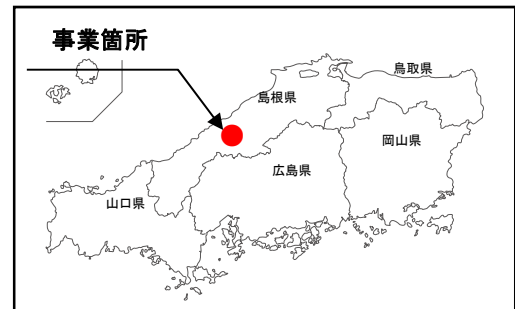
このため、堤防整備により流下能力を確保し、早期に安全性の向上を図ります。

2. 事業箇所

島根県江津市松川町八神地区

3. 平成26年度 予定事業内容

江の川下流八神地区において、築堤 L=200m等を実施します。



4. 期待される整備効果

事業実施により、戦後最大の昭和47年7月洪水と同等規模の洪水が再び発生しても、浸水被害の防止が図られます。

●国民の安全・安心の確保
○防災・減災

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

川平地区は、昭和47年7月洪水で134戸の家屋浸水被害が発生し、近年でも平成11年に25戸、平成18年に10戸の家屋浸水被害が発生しています。

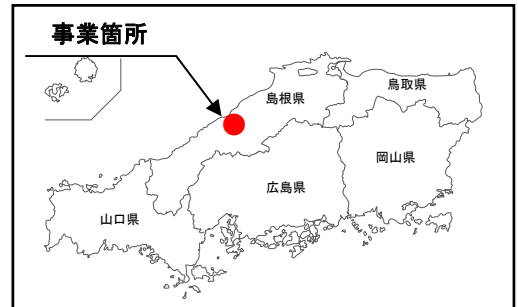
当該地区は、地域の土地利用状況等に配慮し、地域住民合意のもと、宅地嵩上げを主体とする土地利用一体型水防災事業により家屋浸水被害の防止を図ります。

2. 事業箇所

島根県江津市川平地区

3. 平成26年度 予定事業内容

江の川下流川平地区において、築堤L=140m、地盤改良工等を実施します。



凡	例
H25年度末迄:	
H26年度予算:	
H27年度以降:	

4. 期待される整備効果

事業実施により、戦後最大の昭和47年7月洪水が再び発生した場合においても、家屋の浸水被害の防止が図られます。

平成26年度浜田河川国道事務所の主要事業箇所(河川:高津川)

河川事業【高 津 川】

【河川改修費】

○高津川河川改修事業では、益田市大塚地先において築堤等を完成する予定です。また、益田市河成地先においては、堤防浸透対策を完成する予定です。(河-3、河-4)

【河川維持修繕費】

○直轄管理区間(延長20.0km)について、主として堤防除草、護岸補修、樋門操作、河川内樹木伐採、河川巡視等を行います。

【河川工作物関連応急対策事業費】

○益田市高津地先において、老朽化した特殊堤防(擁壁型堤防)の補修を行います。

● **国民の安全・安心の確保**
 ○ 防災・減災

完成予定

1. 事業の必要性及び概要

大塚地区は、高津川で唯一の無堤箇所であり、昭和47年7月洪水で28戸(浸水面積:約3.2ha)の浸水被害が発生し、近年でも平成9年9月、平成17年9月の洪水において、臨港道路の冠水被害が発生しており、浸水被害の防止が必要です。

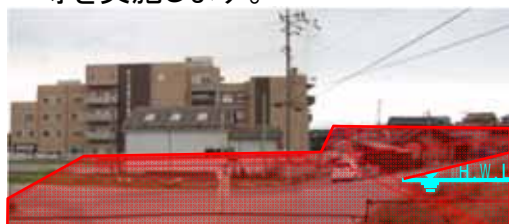
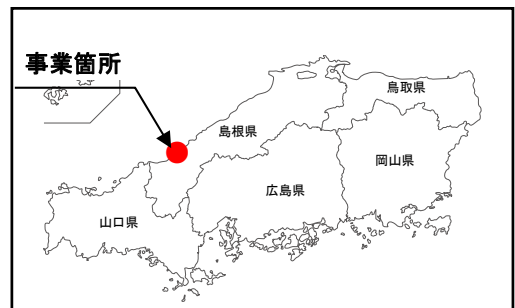
このため、堤防整備により流下能力を確保し、早期に安全性の向上を図ります。

2. 事業箇所

島根県益田市中島町大塚地区

3. 平成26年度 予定事業内容

高津川大塚地区において、築堤L=140m、排水樋門N=1基等を実施します。



凡	例
H25年度末迄:	
H26年度予算:	
H27年度以降:	



4. 期待される整備効果

事業実施により、河川整備計画の目標である戦後最大の昭和47年7月洪水が再び発生した場合でも、家屋の浸水被害の防止が図られます。

● **国民の安全・安心の確保**
 ○ 防災・減災

完成予定

1. 事業の必要性及び概要

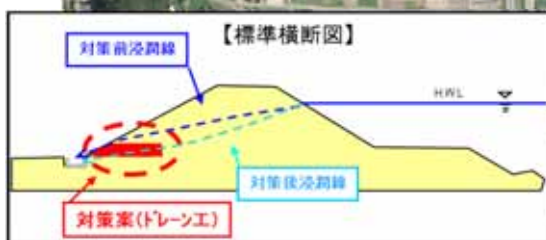
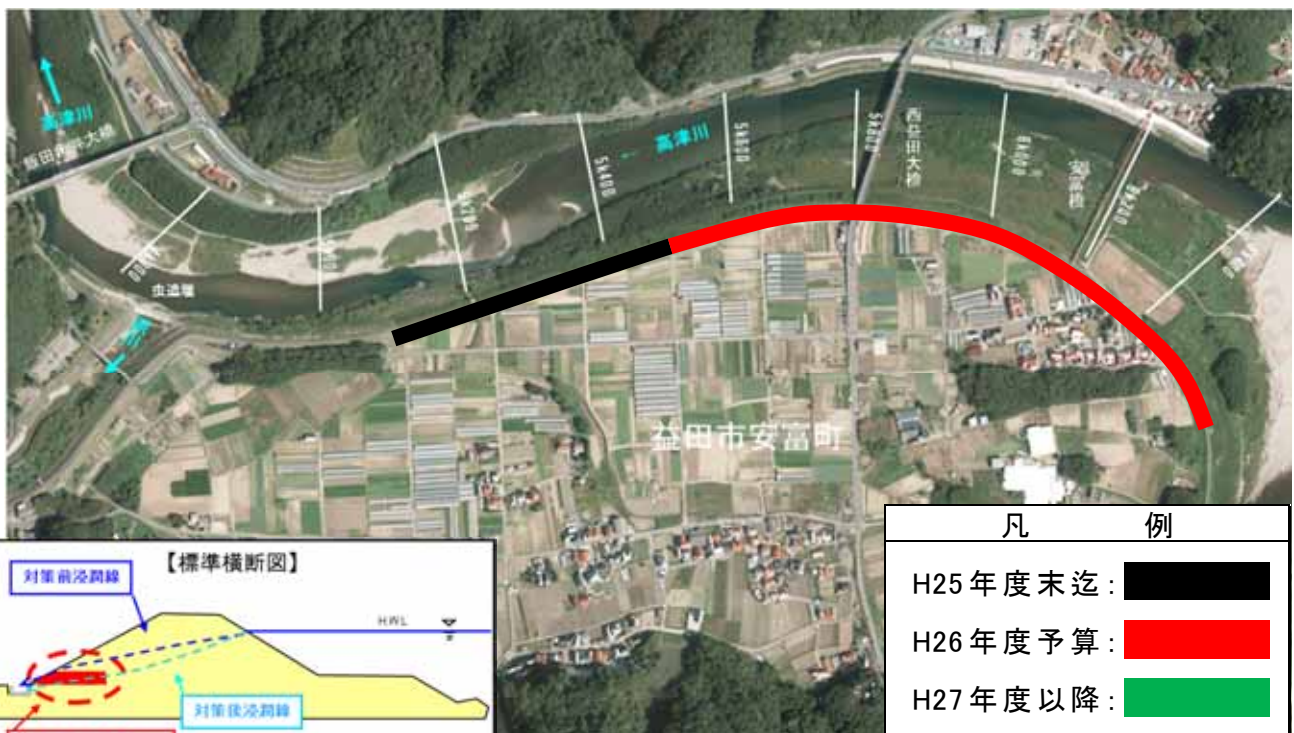
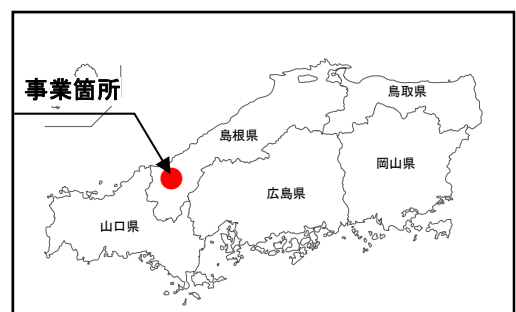
河成地区は、平成9年7月の洪水で堤防からの漏水が発生しました。堤防詳細点検の結果、堤防の浸透に対する安全性が不足しています。このため、堤防の浸透に対する安全性確保のため、浸透対策を実施し、早期に安全性の向上を図ります。

2. 事業箇所

島根県益田市安富町河成地区

3. 平成26年度 予定事業内容

高津川河成地区において、浸透対策(ドレーン工 L=900m)を実施します。



4. 期待される整備効果

事業実施により、浸透による堤防崩壊を防ぎ家屋の浸水被害防止が図られます。

道 路 関 係 事 業

平成26年度の道路事業費(島根県)

[単位:百万円]

事業費	平成25年度 (当初)	平成26年度	対前年度比 H26 / H25
新直轄	110	0	0.00
改築	23,299	24,540	1.05
交通安全事業	1,833	1,569	0.86
電線共同溝	170	100	0.59
合計	25,412	26,209	1.03

上記予算の他に、地方整備局一括配分として、交通安全施設等整備事業費(種)、道路維持管理費がある。
上記には道路調査費、付帯工事費、受託工事費を除く。

平成26年度事業箇所図



凡例

松江国道管内事業中箇所	青色
浜田河川国道管内事業中箇所	緑色
供用済区間	灰色

【松江国道事務所事業】

平成26年度 松江国道事務所事業箇所一覽

番号	事業名	延長	供用(完成)・新規・事業推進	主な内容	資料番号	備考
①	一般国道9号 出雲・湖陵道路	L=4.4km	事業推進	用地買収、埋蔵文化財調査、改良、橋梁	資料-1	
②	一般国道9号 湖陵・多伎道路	L=4.5km	事業推進	用地買収、調査・設計	資料-2	
③	一般国道9号 多伎・朝山道路	L=9.0km	事業推進	改良、橋梁、トンネル	資料-3	
④	一般国道9号 朝山・大田道路	L=6.3km	事業推進	埋蔵文化財調査、改良、橋梁	資料-4	
⑤	一般国道9号 大田・静間道路	L=5.0km	事業推進	用地買収、調査・設計	資料-5	
⑥	一般国道9号 静間・仁摩道路	L=7.9km	事業推進	埋蔵文化財調査、改良	資料-6	
⑦	一般国道9号 仁摩・温泉津道路	L=11.8km	全線完成	改良、橋梁、トンネル、舗装	資料-7	
⑧	一般国道54号 三刀屋拡幅	L=4.1km	事業推進	改良、橋梁	資料-8	
⑨	島根9号交差点改良等	N=5箇所	事業推進・完成	調査設計、用地買収、工事	資料-9	
⑩	島根54号交差点改良等	N=2箇所	事業推進	調査設計、用地買収、工事	資料-9	
⑪	島根9号電線共同溝	N=1箇所	事業推進	電線類地中化	資料-9	

一般国道9号 ^{いずも}出雲・^{こりょう}湖陵道路

事業推進

資料-1

H26:1, 700百万円

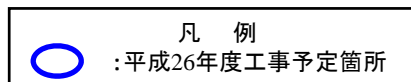
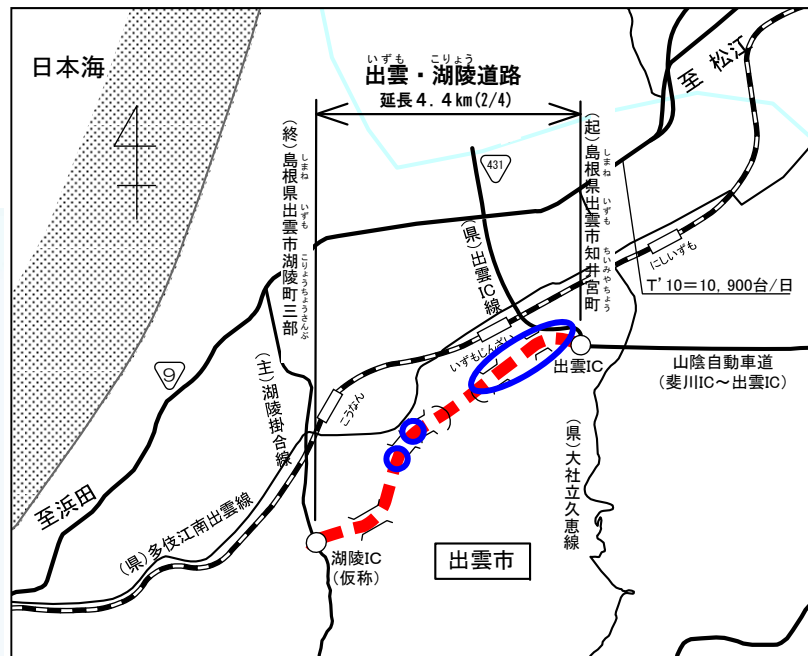
事業概要

一般国道9号の現道部では、通過車両と生活車両が混在し、県中西部方面から出雲市中心部への流入付近で交通混雑が発生しており、交通事故も多発しており、地域の経済活動に多大な支障をきたしている状況です。

出雲・湖陵道路は、このような課題を解決するために計画された道路で、島根県出雲市知井宮町から出雲市湖陵町三部に至る延長4.4kmの自動車専用道路で、平成20年度に事業着手しています。

平成26年度は、早期供用に向け、用地買収を推進するとともに、埋蔵文化財調査、改良工事、橋梁下部工事を促進します。

事業箇所図



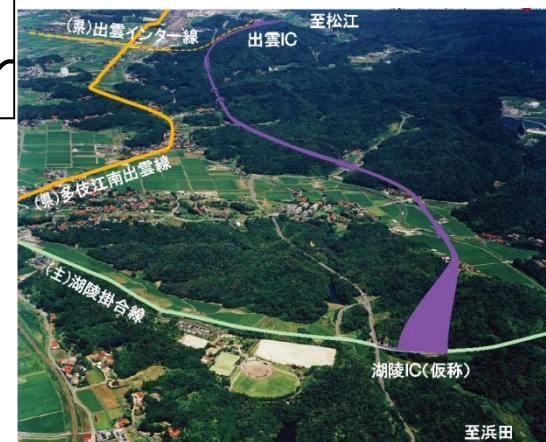
状況写真



大型車同士の衝突事故
(H16.6発生 出雲市大島町地内)



事故に伴う渋滞



一般国道9号 ^{こりょう たき}湖陵・多伎道路

事業推進

資料-2

H26:500百万円

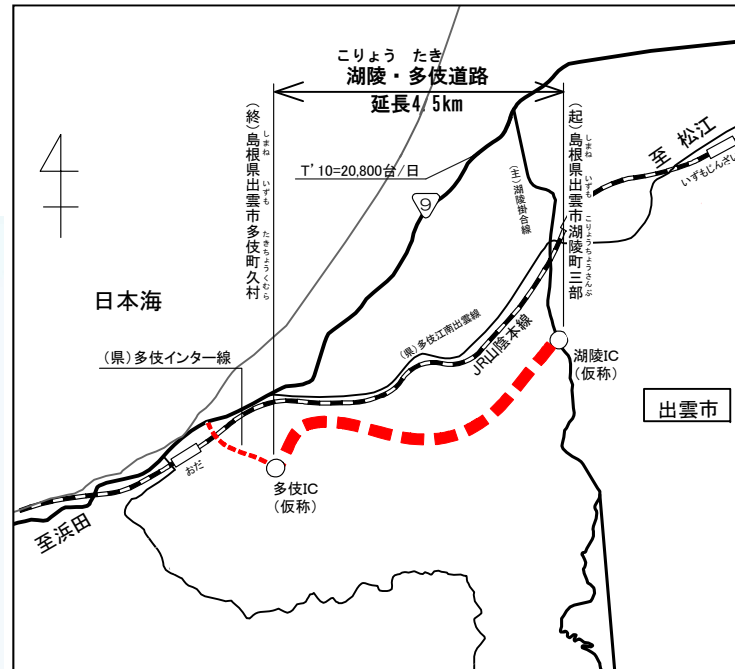
事業概要

一般国道9号は東西を結ぶ唯一の幹線道路であり、近隣に代替路となる幹線道路が無く、通行止め時は大幅な迂回が必要です。また通行止め時は、日常生活及び経済活動として必要な交通機能が損なわれ、また緊急輸送道路についても未確保の状況となっています。

湖陵・多伎道路は、緊急輸送道路の確保及び第3次医療施設への速達性の向上等を目的とした島根県出雲市湖陵町三部から出雲市多伎町久村に至る延長4.5kmの自動車専用道路で、平成24年度に事業着手しています。

平成26年度は、早期工事着手に向け、用地買収に着手するとともに、環境調査、地質調査、道路詳細設計を推進します。

事業箇所図



状況写真



一般国道9号 多伎・朝山道路

事業推進

資料-3

H26:6, 200百万円

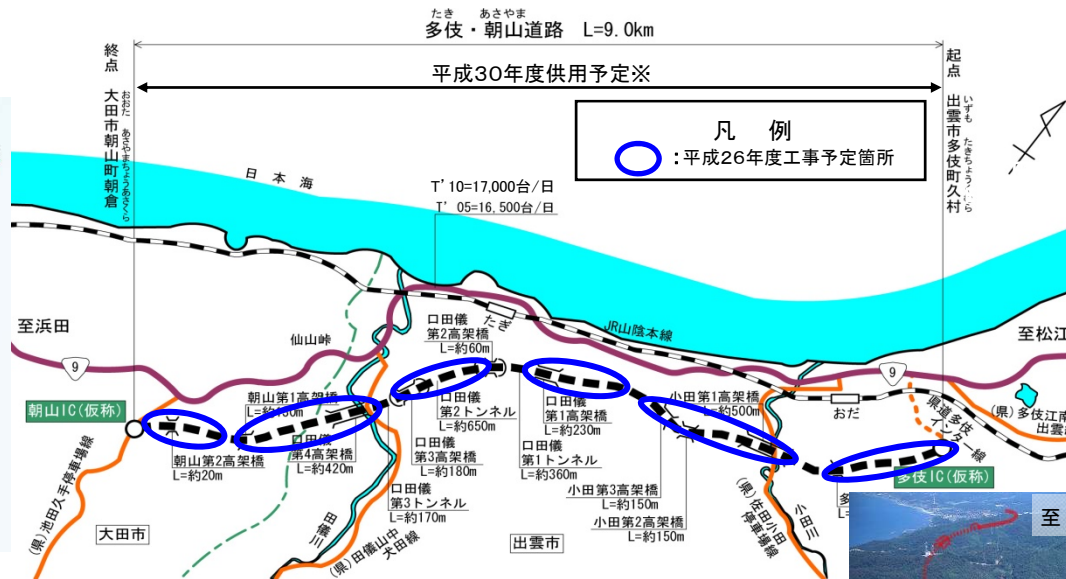
事業概要

一般国道9号の出雲市と大田市境の「仙山峠」付近は、急カーブが連続し交通事故の多発する島根県内でも有数の交通の難所となっています。また、平成18年7月豪雨災害では、国道9号が全面通行止めとなる等、災害が頻発する区間ともなっています。

多伎・朝山道路は、このような課題を解決するため計画された道路で、島根県出雲市多伎町久村から大田市朝山町朝倉に至る延長9.0kmの自動車専用道路として平成18年度に事業化し、平成20年度に用地買収に着手しました。

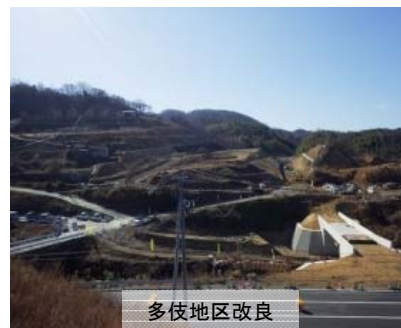
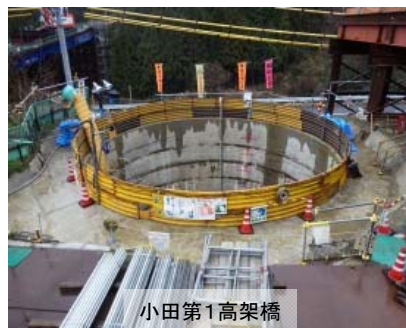
平成26年度は、平成30年度の供用に向け、改良工事、橋梁下部工事、橋梁上部工事、トンネル工事を促進します。

事業箇所図



平成18年7月豪雨災害により国道9号に35時間の全面通行止め（片側交互通行79日間）

状況写真



※用地取得及び猛禽類保全対策等が速やかに完了する場合

一般国道9号 あさやま おおだ 朝山・大田道路

事業推進

資料-4

H26:4,000百万円

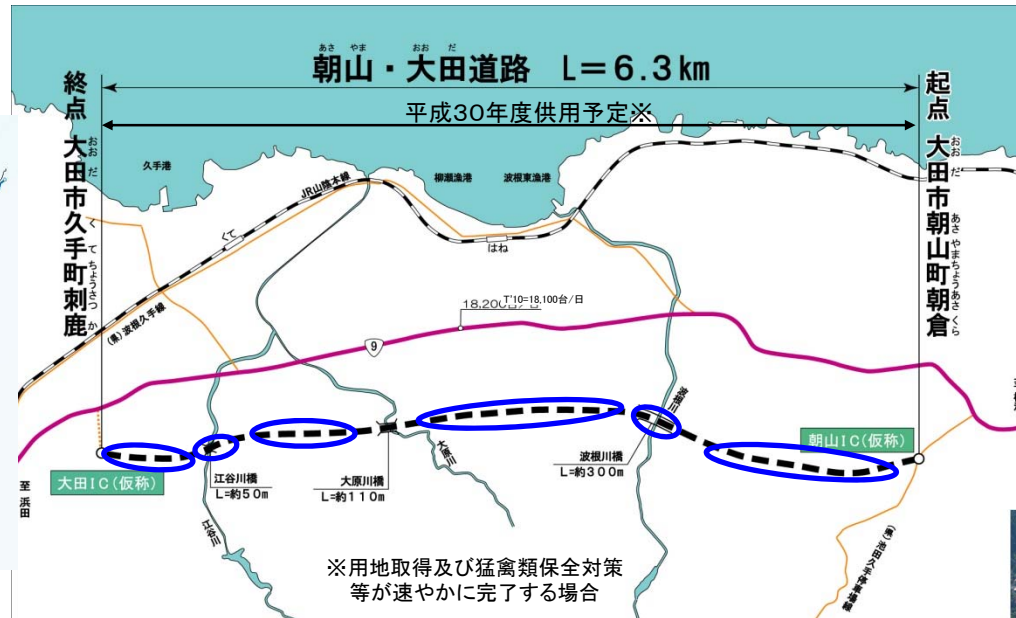
事業概要

一般国道9号の出雲市と大田市境の「仙山峠」付近は、急カーブが連続し交通事故の多発する島根県内でも有数の交通の難所となっています。また、平成18年7月豪雨災害では、国道9号が全面通行止めとなる等、災害が頻発する区間ともなっています。

朝山・大田道路は、このような課題を解決するため計画された道路で、島根県大田市朝山町朝倉から大田市久手町刺鹿に至る延長6.3kmの自動車専用道路で、平成19年度に事業着手しています。

平成26年度は、平成30年度の供用に向け、埋蔵文化財調査、改良工事、橋梁下部工事、橋梁上部工事を推進します。

事業箇所図



平成18年7月豪雨災害により国道9号に35時間の全面通行止め(片側交互通行79日間)

状況写真



一般国道9号 ^{おおだ しずま} 大田・静岡道路

事業推進

資料-5

H26:510百万円

事業概要

一般国道9号は東西を結ぶ唯一の幹線道路であり、近隣に代替路となる幹線道路が無く通行止め時は大幅な迂回が必要です。また通行止め時は、日常生活及び経済活動として必要な交通機能が損なわれ、また緊急輸送道路が未確保の状況となっています。

一般国道9号大田・静岡道路は、緊急輸送道路の確保及び第3次医療施設への速達性の向上等を目的とした島根県大田市久手町刺鹿から大田市静岡町に至る延長5.0kmの自動車専用道路で、平成24年度に事業着手しています。

平成26年度は、早期工事着手に向け、用地買収に着手するとともに、環境調査、地質調査、道路詳細設計等を推進します。

事業箇所図



状況写真



トレーラーと普通車の正面衝突事故
(H21.12発生 大田市朝山町)



事故に伴う渋滞

一般国道9号 静間・仁摩道路

事業推進

資料-6

H26:1, 500百万円

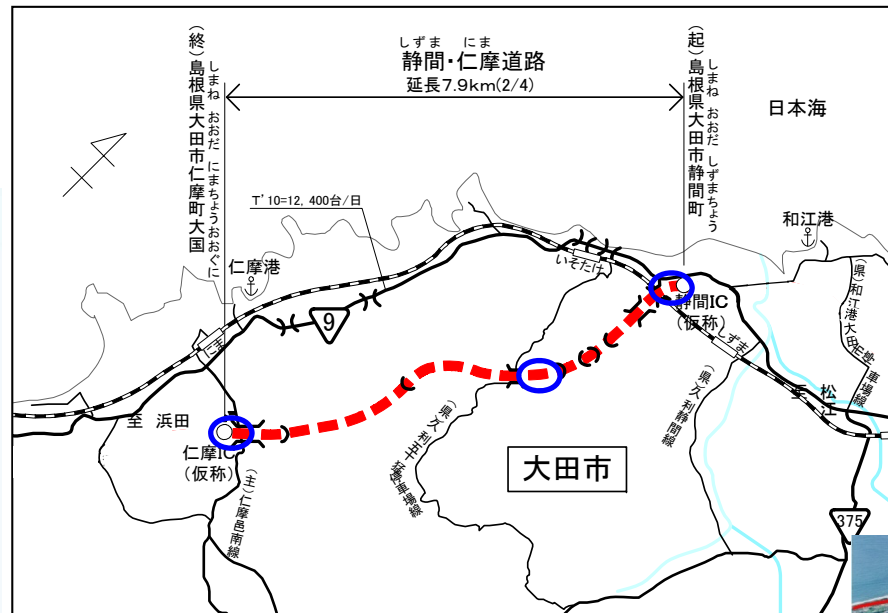
事業概要

一般国道9号の現道部は、急カーブや急勾配が連続する区間が多く、死亡事故につながる重大事故が発生しやすい状況にあります。また、国際規格コンテナ通行支障トンネルや、事故や災害時には通行止めが発生し大幅な迂回が必要となるなど、社会経済活動に大きな支障をきたしています。

静間・仁摩道路は、このような課題を解決するために計画された道路で、島根県大田市静間町から大田市仁摩町大国に至る延長7.9kmの自動車専用道路で、平成20年度に事業着手しています。

平成26年度は、早期供用に向け、埋蔵文化財調査、環境調査、改良工事を促進します。

事業箇所図



凡例
○ :平成26年度工事予定箇所

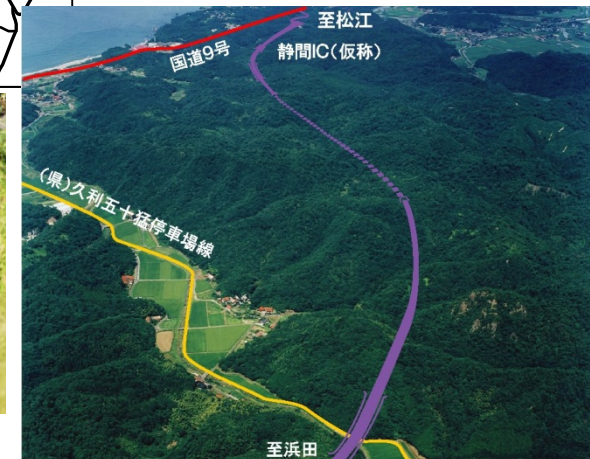
状況写真



大型車の事故で約2時間全面通行止め
(H16.6発生 大田市静間町)



建築限界が不足するトンネル
(H19.5 宅野トンネル)



平成26年度 交通安全事業・電線共同溝事業

資料-9

事業推進・完成

交通安全事業概要

事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間における学童等の歩行者が安全・安心に通行できる歩行空間の確保、交差点における事故防止を目的として交通安全事業を進めています。

平成26年度は、継続事業7箇所において、調査設計、用地買収、用地補償及び工事を推進します。

H26 : 交通安全事業 1,041百万円
電線共同溝事業 100百万円

電線共同溝事業概要

電線類を地中化することにより、安全で快適な通行空間の確保、都市景観及び台風や地震時において電柱等の倒壊を防止し、災害時におけるライフライン及び緊急輸送道路の安全性を確保することを目的とし、電線共同溝事業を進めています。

平成26年度は継続事業箇所1箇所において、調査設計及び工事を推進します。



【雲南市三刀屋町】
※歩道整備予定箇所



【松江市東出雲町掲屋】
※自転車歩行者車道整備予定箇所



【松江市玉湯町林】
※視距改良予定箇所

【浜田河川国道事務所事業】

浜田河川国道事務所 事業箇所

番号	事業名	延長	供用(完成)・新規・事業推進	主な内容	資料番号
	一般国道9号 浜田・三隅道路	L=14.5km	部分供用	舗装工事、改良工事、橋梁工事等	付属資料 - 道路1
	一般国道9号 三隅・益田道路	L=15.2km	事業推進	調査設計、用地買収	付属資料 - 道路2
	島根9号交差点改良等	N=8箇所	新規事業・事業推進・完成	調査設計、用地買収、工事	付属資料 - 道路3

事業概要

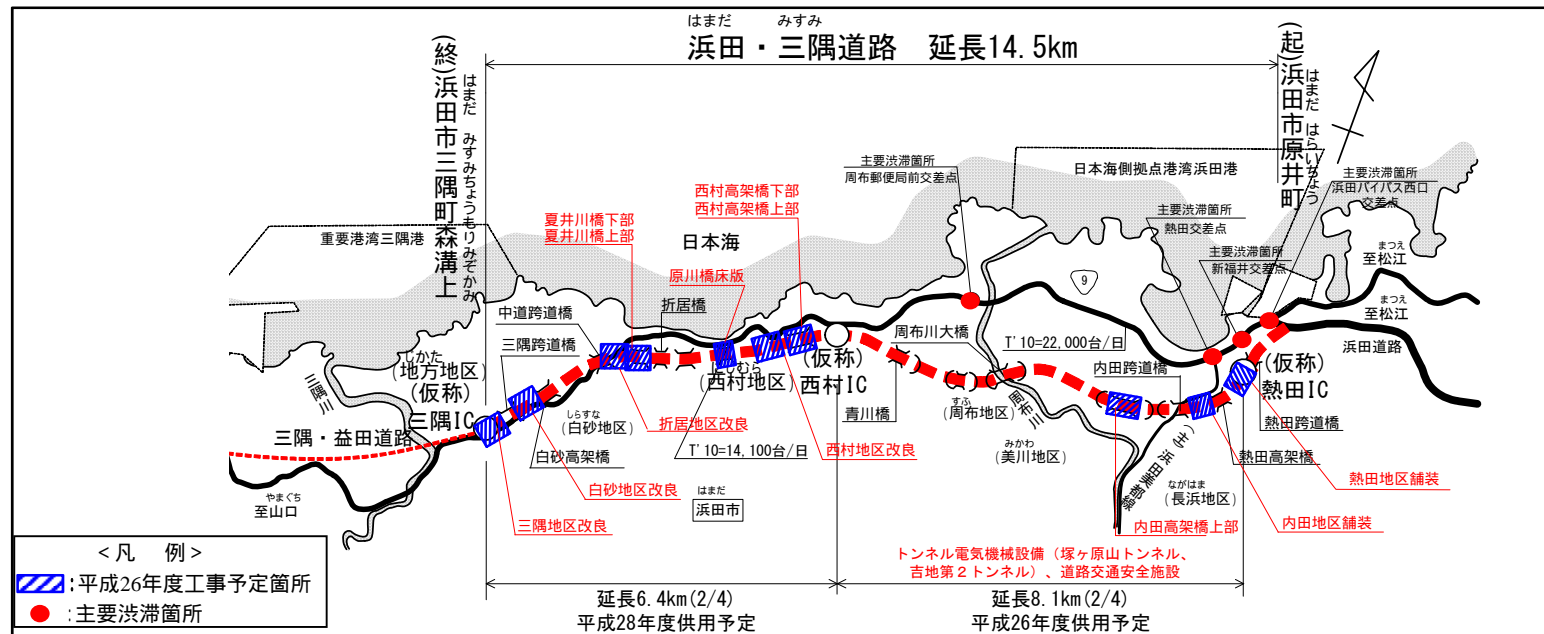
一般国道9号は島根県の東西を連絡する唯一の幹線道路ですが、当該地区の浜田市原井町～浜田市三隅町森溝上間には、急勾配・カーブの連続する隘路区間や多くの防災対策必要箇所、また主要渋滞箇所(浜田バイパス西口、新福井、熱田、周布郵便局前)が存在しており、地域の生活に大きな影響を与えています。

浜田・三隅道路は、一般国道9号のバイパスとして計画された延長約14.5kmの道路で、これらの問題点を解消するとともに、災害等緊急時における代替ルート確保が図られます。また、国道9号等の幹線道路と連携し、広域交通の分担を図ることにより、沿線地域の産業振興や観光開発を促進し、生活圏の拡大など地域経済の発展と活性化に大きく寄与します。

平成16年3月に都市計画決定され、平成16年度から事業着手しています。

平成26年度は、橋梁工事、舗装工事等を推進し、熱田IC(仮称)～西村IC(仮称)間の部分供用を目指します。また、西村IC(仮称)～三隅IC(仮称)間の橋梁工事、改良工事等を推進し、平成28年度の供用を目指します。

事業箇所図



状況写真

(H26.2末撮影)



折居川橋PC上部工事 整備状況



内田高架橋PC上部工事 整備状況



三隅地区外第2改良工事 整備状況

事業概要

一般国道9号は島根県の東西を連絡する唯一の幹線道路ですが、当該地区の浜田市三隅町～益田市遠田町間には、急勾配・カーブの連続する隘路区間や多くの防災対策必要箇所が存在しており、地域の生活に大きな影響を与えています。

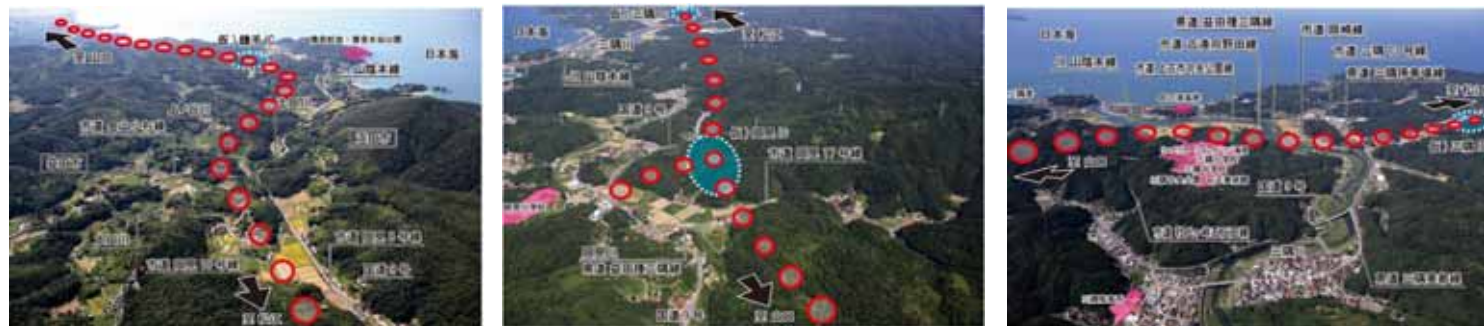
三隅・益田道路は、一般国道9号のバイパスとして計画された延長約15.2kmの道路で、これらの問題点を解消するとともに、災害等緊急時における代替ルートの確保が図られます。また、第3次医療施設への速達性が確保され、医師不足が深刻な地域の病院間の連携が強化されます。平成22年10月に都市計画決定され、平成24年度から測量、地質調査に着手しています。

平成26年度は、早期工事着手に向け、地質調査、道路詳細設計等を行い、用地買収に着手します。

事業箇所図



イメージ

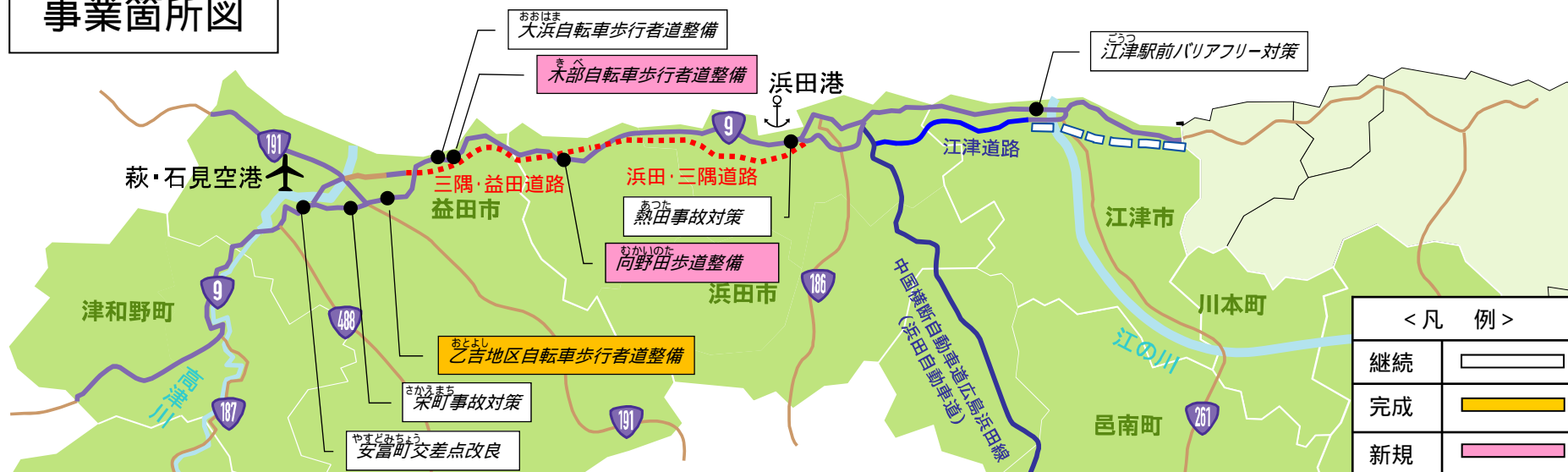


事業概要

事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間において、交通事故対策の推進および安全で快適な歩行空間の構築を目指し、主に通学路に指定されていながら歩道が未設置もしくは歩道が狭い箇所を重点的に歩道等の整備を行う交通安全事業を進めています。

平成26年度は、江津市江津、浜田市熱田町、浜田市三隅町向野田、益田市木部町大浜、益田市木部町、益田市乙吉町、益田市栄町、益田市安富町の計8箇所において、調査設計及び用地買収・工事を推進し、その内1箇所(益田市乙吉町)の完成を予定しています。

事業箇所図



益田市乙吉町
自転車歩行者道整備予定箇所



浜田市三隅町向野田
自転車歩行者道整備予定箇所



浜田市熱田町
事故対策予定箇所

港 灣 關 係 事 業

予 算 総 括 表

[単位:百万円]

事業別	港名	平成25年度事業費 (当初)	平成26年度事業費 (当初)	対前年度比	備考
港 湾	浜田港	1,000	1,094	1.09	臨港道路の整備 防波堤(新北)の整備
	三隅港	-	290	皆増	老朽化対策(浚渫)
	合 計	1,000	1,384	1.38	

事業費はいずれも年度当初予算額であり、業務取扱費を含まず

【浜田港臨港道路整備事業】 (事業推進) H26:714 百万円

事業概要

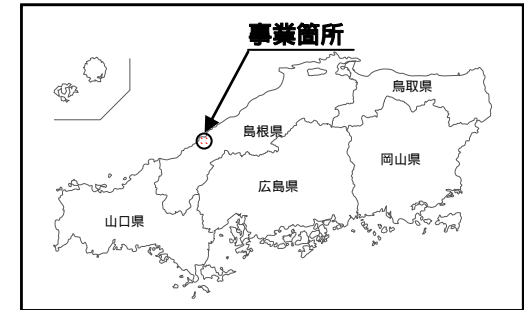
浜田港福井地区は、国際コンテナ貨物や、石炭、原木等を扱う主要ふ頭を擁しているが、福井地区と背後圏を結ぶ臨港道路福井1号線は、国道9号接続部周辺において、増加する港湾車両の渋滞が慢性化しています。また、同地区には耐震強化岸壁が整備されていることから、大規模地震時において、耐震強化岸壁と背後圏とを結ぶ円滑な輸送路の確保が必要となっています。

このため、本事業では浜田港周辺で整備が進められている山陰自動車道等の道路ネットワークと連携し、更なる増加が見込まれる港湾貨物の安全かつ効率的な輸送を図るため、また、大規模地震時の緊急物資等の円滑な輸送を図るために、浜田港福井地区において臨港道路の整備を行います。平成26年度は、橋梁下部工事、土工(盛土工事、切土工事)等を推進します。

期待される整備効果

本事業により、山陰自動車道等の高速道路ネットワークの効果を最大限に活用することが可能となり、輸送コストの削減、利用企業の国際競争力強化を通じ、日本経済の発展、雇用の確保等に寄与します。

また、大規模地震発生時には、福井地区の耐震強化岸壁を活用した緊急物資輸送等を通じて、背後圏の経済活動を出来る限り早期に回復することに寄与します。



【浜田港防波堤整備事業】 (事業推進)

H26: 380 百万円

事業概要

浜田港は、島根県西部に位置し、セメント、原木、完成自動車(中古車)等を取扱う物流拠点として、地域の産業活動を支える重要な役割を果たしていますが、冬期風浪等の影響により、国際物流ターミナルでの安全かつ効率的な荷役作業に支障が生じています。

このため、福井地区において防波堤の整備を推進しています。平成26年度は、消波ブロック据付等を実施します。

期待される整備効果

本事業により、港内の静穏度が向上し、年間を通じて安全かつ効率的な荷役作業が行えるようになるとともに、避難水域の確保等、航行船舶の安全性向上に寄与します。



【三隅港 港湾施設の老朽化対策事業】

H26:290 百万円

事業概要

高度成長期に集中的に整備された港湾施設については、今後一斉に老朽化を迎えることが予測され、これにより、社会資本のライフサイクルコストの増大、老朽化を起因とした事故等による国民への公共サービスの低下などが大きな課題とされています。

このため、老朽化により港湾機能に支障が生じないよう、効率的・戦略的な港湾施設の老朽化対策を実施します。

三隅港は、島根県西部に位置し、背後に立地する三隅火力発電所への石炭供給拠点等として重要な役割を果たしていますが、航路埋没を原因とした水深不足による喫水調整(減載)が発生する等大型石炭輸送船の効率的な運航に支障が生じています。

このため、松原地区において航路埋没土砂の浚渫を実施します。

期待される整備効果

本事業により、既設港湾施設の延命化およびライフサイクルコストの低減が図られます。

三隅港では、石炭の効率的な輸送及び運搬船の安全な入出港を確保され、電力の安定供給を図られることにより、地域社会の発展、安全・安心が図られます。

